

年長組(5歳児) 12月指導計画 あやめ台幼稚園

予想されるこどもの姿	経験・活動、行事	家庭・地域との連携	アプローチのポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鼓笛や指人形劇、オペレッタなど、それぞれの発表内容に自信や期待をもち積極的に意見を出したり練習したりする</li> <li>・秋から冬への移り変わりを感じ、気温や水温の変化に気づいて話題にあげる</li> <li>・自分が成長している点に気づき、自信をもって行動する(身支度、食事など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会リハーサル</li> <li>・もちつき</li> <li>・音楽発表会または指人形劇発表会</li> <li>・ECC</li> <li>・誕生会</li> <li>・カリンジュースをいただく</li> <li>・クリスマス会</li> <li>・終業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内で流行っている流行性の病気を知らせ、各家庭でも予防に努めるよう呼びかける</li> <li>・保護者と個人面接を行い、2学期の子どもの成長やこれからの課題を伝えて互いの見ている姿を理解し合うとともに、就学に向けて感じている不安などを受け止める</li> <li>・発表会について日時等を知らせるとともに、そこに至るまでの子どもたちの成長を伝え、当日の結果だけではなく見えない部分にも注目して見てもらえるよう呼びかける</li> <li>・子どもには十分な睡眠時間が必要であることを伝え、大人ではなく子どもに合わせた生活リズムを作って貰えるよう家庭に伝えていく</li> <li>・小学校の給食ではフォークやスプーンは使わないので箸を使って食べる習慣をつけられるよう、子どもや家庭に伝えていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会という共通の目標に向けて、クラスの友だちと心を合わせて取り組む楽しさや、互いに認め合ったり励まし合ったりすることで自信をもち充実感を味わえるようにする</li> <li>・年末から年始にかけてさまざまな伝統的な行事や習慣があることを意識して理解したり、自らの生活に取り入れられるようにする</li> </ul>

	ねらい(以後継続するねらいも含まれる)	援助・配慮	
生活面について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字や数字への興味を高め、すすんで書こうとする</li> <li>・規則正しい生活を送り、時間を意識して行動する</li> <li>・椅子に正しく座る</li> <li>・保育室やロッカーなどを整理整頓し、身の回りをきれいにする</li> <li>・風邪や病気の予防や体調管理を意識して生活し、すすんで手洗いうがいなどを行う</li> <li>・環境に合わせて衣服の調節をする</li> <li>・袖から手を出し正しく服を着る</li> <li>・自分の荷物は自分で持ち帰る意識をもつ</li> <li>・教師や話している人の目を見て話を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬休みのおけいこととして、年始のあいさつの言葉や自宅の電話番号を練習できるように教材を準備し、年賀状に自分で書くことを意識したり、迷子になった時には番号を人に伝えたりできるように伝えていく⑧⑤④</li> <li>・時計の読み方をそのつど確認し、身につけていけるよう日々配慮する⑧②</li> <li>・冬休み中でも睡眠時間や食事はきちんととるように、生活についての約束を、手紙を見ながら確認していく①②④</li> <li>・机について行う活動のほかにも、椅子を並べて集まりをするなどして椅子に座ることに慣れ、腰かける深さや足の状態など、座る時の姿勢を確認して正しい座り方を意識できるようにする①④</li> <li>・修了式や小学校では椅子で過ごすことを伝え、目的意識をもって取り組めるように話をする①④</li> <li>・日頃から自分の身の回りを整頓する大切さを伝えていく④①</li> <li>・手洗いうがいの引き続きの励行だけでなく、睡眠や食事をしっかりとすることで体が元気になることを伝え、意識できるようにする①</li> <li>・手洗いうがいをこまめに行うだけでなく、咳やくしゃみをする時は手でおおうなどのエチケットも身につけられるように伝えていく①</li> <li>・絵本や指示表をとおして、冬が寒くても換気が必要なこと、風邪やインフルエンザにかかると出る症状について伝え、理解した上で予防できるようにする①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園全員が集まる際には、マスクの着用をできるように呼びかける①</li> <li>・重ね着で寒暖に対応する習慣を身につけられるようにする⑥</li> <li>・登園後、重ね着をしていて暑い場合はすすんで衣服の調節をできるように指導する①②</li> <li>・外遊びに行く前に、衣服が適しているかを考える時間を設け、考えて選択する経験を重ねられるようにする②⑥</li> <li>・服が伸びてしまうことや、転倒した時に手をつけずケガをしてしまうことなどを話し、自分で気づいて袖口を折ったりまくったりできるように伝える①</li> <li>・小学校の登下校はバス送迎や保護者の付き添いがないことを理解し、自分の荷物は自分で持ち帰る習慣がつくよう、子どもにも家庭にも伝えていく②</li> <li>・発表会などで前に立つ経験をしたうえで、前で話している人の気持ちを考え、真剣に話を聞けるように指導する④⑤</li> <li>・小学校でも教師の目を見て話を聞くのが基本であり、目を見るからこそ意味が理解できることを伝えていく④⑤</li> <li>・他クラスの発表(劇、歌など)も同様に目を見て聞くなど、場面が変わっても実践できるようにする④⑤</li> <li>・トラブルがあった時に、まずは自分たちで解決するために何が必要かを考えて実行できるように励ましていく②③④</li> </ul>

<10の姿>①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

	ねらい	内容	環境構成	援助
第1週・第2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会のリハーサルを行い、全体の流れをつかんで本番に自信をもつ</li> <li>・他クラスの発表を見てよいところに気づき、自分でも取り入れようとする</li> <li>・他クラスの発表を見ることで3学期の自分たちの発表会に期待をもつ</li> <li>・進んで外へ出て、ルールのある体験を通して体を動かすことを楽しむ(以後継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指人形劇(またはオペレッタや鼓笛、歌など)の練習の成果を、ほかのクラスの子どもや教師の前で発表する</li> <li>・ほかの年長組の音楽発表会の演目を見学して楽しみ、自分のクラスが来学期に発表することに期待感をもつ</li> <li>・完成をイメージし、楽しみながら指人形作りに取り組んだり、劇の題材を選んだりする</li> <li>・戸外でドッジボールやサッカー、鬼ごっこなど、体を動かすさまざまなゲームを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劇の小道具などは自由遊びの際にも触れられるようにして、子どもたちが扱い慣れることができるようにする</li> <li>・他クラス、他学年のリハーサルや練習をお互いに見合えるように、担任間で練習日程の調整をする</li> <li>・進学に向けて、小学校での過ごし方などの絵本を置いておく⑤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハーサルでは自分のがんばった点や友だちの発表のよさについて考えることができるようにする③</li> <li>・リハーサルや他クラスの発表は、お客さんに見られているという意識をもって最後まで集中して臨めるよう配慮する④</li> <li>・発表会のプログラムの飾りや背景をどのように作るか、テーマや描きたいものの意見を出し合って話し合う⑨⑩</li> <li>・子どもが主に製作をすすめることで自分たちで作り上げた実感をもてるようにする⑥②</li> <li>・さまざまな音を聞き、その音がどんな音か、聞いた時にどんな気持ちになるかなど、音からのイメージを膨らませることができるよう声かけする⑩</li> <li>・劇では、イメージする完成形に近づいていくことを楽しんでいけるよう声をかける。またリハーサルをとおしての感想や、より良くするための改善点を具体的に表現できる場を設ける⑩⑨</li> <li>・自分の役や手伝いなどの担当に責任をもって取り組めるように声をかける②③</li> <li>・発表の練習を振り返って今日の反省点を捉え、それを踏まえて次の日の目標を考える⑥</li> <li>・発表会に向けて他クラスの劇を観賞する際、参考になった部分を自分たちのクラスでも取り入れたいと思えるように話をする②</li> <li>・他クラスの発表を見て、子どもたちと感想を話し合うことで発表会に対する意識を高める⑨</li> <li>・大道具づくりに向けて自由遊びでも絵の具や筆、スポンジなどに触れられる環境を用意し、製作につながるようにする⑤</li> <li>・オペレッタでは、まずいろいろな役を行ってみて、みんなで一つの劇を完成に向けられるように話し合っていく⑥⑨</li> <li>・ドッジボールなどの集団ゲームでは、ルールを守る大切さや楽しさについて話し合えるようにする④①</li> <li>・体を動かすゲームを取り入れ、慣れてきたら子どもたちと一緒にルールを見直しながら発展させていく①</li> <li>・朝の集まりで椅子を並べて座り、正しい座り方を考えたり、小学校への期待感をもったりできるようにする④</li> </ul>
第3週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもって人前で発表することを楽しみ、達成感や満足感を味わう</li> <li>・自分たちの植えた作物などの生長を喜び、収穫を楽しむ</li> <li>・年末にもちつきをする理由を改めて知り、日本の文化や食に興味をもつ</li> <li>・3学期の経験、活動への期待をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に見てもらうことを喜び、緊張感や意欲をもって発表会に臨む</li> <li>・発表会に真剣に取り組み、みんなで力を合わせて行った達成感や満足感を味わう</li> <li>・3学期の発表会に期待をもって楽器選びや役決め、台本作りを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に触れて音色や感触を楽しめるように、楽器を保育室に並べてコーナーを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの練習を振り返り、自信をもって発表会に臨めるように励ましていく</li> <li>・発表の前や終了後はこれまで工夫した点、がんばった点について十分にほめ達成感をもてるようにする②③⑩</li> <li>・自分自身の目標をもち、やり切った達成感を感じられるようにする②</li> <li>・3学期にも様々な発表があることを伝え、期待感や見通しがもてるようにする</li> <li>・発表会当日の姿だけでなく、これまで積み重ねてきた活動を振り返り、成長したことに気づき達成感を得られるようにする②⑨</li> <li>・みんなで力を合わせて作り上げたという充実感を味わえるように話をまとめていく③</li> <li>・発表会当日は、保護者の方に感想を言っていただく時間を作り、満足感や自信につながるように声をかける⑤②</li> <li>・発表会後は、指人形をいつでも使えるように設定したり違う役をやってみて楽しさや大変さを感じたりすることで達成感がより広がるように配慮する⑥⑩</li> <li>・各種の太鼓や鉄琴、ベルリラ、木琴、キーボードなど、これまで使ったことのない楽器は音色や扱い方を紹介し、興味をもってすすんで触れられるように配慮する②④⑩</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユズの実りやダイコンの生長に気付き、収穫を楽しむ</li> <li>11月に作ったカリンジューズを味わって飲む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユズに触れて、感触やにおいなどを体験できるようにする⑨⑩</li> <li>抜きやすいように、また葉が折れにくいように、ダイコンの葉はあらかじめひもで軽く束ねておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユズは料理に使ったり、風呂に入れたりして使うことを紹介し、特に冬至にユズ風呂に入ると風邪をひかないと言われていることを伝え興味をもてるようにする⑤①</li> <li>梅ジュースとの違いを考えながらカリンジューズを味わえるように声かけしていく。また、ゆずでもジュース（ゆず茶）を作れることを伝え、身近にあるさまざまな植物から手作りできることに興味をもてるようにする⑦</li> <li>ダイコンの収穫時は、葉の形や広がり方、触感、においなどにも気づけるように声掛けしていく⑥⑦</li> <li>ダイコンを抜くときの体への力の入れ方を考えて抜けるよう話をする①⑥</li> <li>収穫したダイコンを袋に入れる時は、友だちと協力し合えるように伝える⑤③</li> <li>売っているダイコンと収穫したダイコンの違いに気づけるようにする⑦</li> <li>ダイコンの葉っぱもおいしく食べられることを伝えていく①</li> <li>持ち帰った後、ダイコンでどんな料理を作ったか発表会をしてさまざまな家庭の料理に興味をもつ⑨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな音を聞き、その音がどんな音か、聞いた時にどんな気持ちになるかなど、音からのイメージをふくらませることができるように声かけする⑩</li> <li>パチを使ったリズム遊びでパチの持ち方を知り、さまざまなリズムを叩くことを楽しんだり音楽の記号について知ったりできるようにする⑩</li> <li>役決めや楽器決めの際は、2学期の発表会を振り返り、その時希望の役や楽器を譲ってくれた友だちのことを考えてすすめられるように声かけする④⑨</li> <li>さまざまな楽器のいろいろな音が合わさることで初めて合奏になることに気付き、どのパートも重要で大切だということを理解できるようにする③</li> </ul>
第4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期を振り返り、自分や友だちの成長について考える</li> <li>冬の伝統行事や年末年始の風習、文化などを知り、興味をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具箱の整理整頓をし、冬休みや新年を迎える気持ちをもつ</li> <li>年末や新年の生活や遊びに興味をもち、冬休みに期待する</li> <li>冬休みの過ごし方や約束を確認し、規則正しい生活を意識する</li> <li>体力測定の結果を知り、年中時の記録と比べて、自分の成長を感じる</li> <li>2学期を振り返り、自分や友だちの頑張ったところやよい所を知り認め合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雑巾は十分な枚数を準備しておく</li> <li>冬至や正月についてかいてある絵本を用意し、理解しやすいようにする⑤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所持品や保育室をきれいにし、新年を迎えることを意識する⑤④</li> <li>年末に大掃除をする理由を知り、自分で雑巾を絞ったり、ほうきやちりとりなどの掃除道具の使い方を知ったりして、身の回りをきれいにする習慣を身につけられるようにする⑤</li> <li>冬至や正月について話し、気候や風習についても知って興味をもてるようにする⑤</li> <li>日本の伝統的な正月料理やあそび、挨拶について紹介し、興味をもってクラスや家庭で楽しめるようにする⑤</li> <li>冬休み中の生活について話し合う際には、クリスマスや正月のイベントだけでなく、一人一人の子どもが日常生活の中でしてみたいことを取り上げていく</li> <li>冬休み中の約束を話し合い、安全・健康管理を自分でも意識できるようにする④</li> <li>昨年からどれくらい体力測定の記録が伸びているか子どもと比較確認し、直接目に見えない成長も喜べるようにする①⑧</li> <li>2学期にそれぞれ頑張った点や伸びた点をほめる言葉としてクラス全体に伝え、自分や友だちの良い所に気づき、認め合うとともに自信や今後の意欲につながるようにする②①</li> <li>3学期の活動や行事を伝え、進学や卒園に向けてもさまざまなことをすることに期待をもてるようにする①</li> </ul>